

令和３年度 第１回石岡市総合計画審議会 会議録

１ 会議の名称

令和３年度 第１回石岡市総合計画策定委員会

２ 開催日時

令和３年６月１日（火）１４時００分から １５時００分まで

３ 開催場所

石岡市役所本庁舎 メロディアスホール

４ 出席者

１９人

５ 会議録（要旨）

（１）開会

【事務局】

令和３年度第１回石岡市総合計画審議会を開会する。本日の出席委員は１９名で、本審議会条例第６条第２項に規定する定足数を満たしているため、この会議は成立していることを報告する。また、会議については、石岡市総合計画審議会傍聴要綱に基づき公開とする。それでは、次第に沿って進める。初めに馬渡会長よりあいさつをお願いする。

（２）会長あいさつ

【会長】

円滑な議事進行に努めたい。

【事務局】

ありがとうございました。これ以降の議事については、会長をお願いする。

【会長】

本日の議題は「総合計画（基本構想・基本計画）の策定について」である。委員の皆様には、後ほど説明することになるが、特に「石岡市基本構想（案）について」賜りたい。それに先立ち、「基本構想基本計画策定方針・体系（案）について」、事務局より説明申し上げる。

【事務局】

(資料1 説明)

【会長】

来年度から10年間にわたり、最上位計画として位置づける基本構想及び市長任期連動型の基本計画について策定することであった。計画体系案及び現行の計画に関する説明があったが、質問があればお願いしたい。

では、次に②「市民の声収集」集計結果、それを踏まえ、本日のメインとなる③石岡市基本構想（案）について説明を行う。

【事務局】

(資料2・資料3 説明)

【会長】

ただいま事務局より説明があったが、初めに、質問・疑問についてお聞きし、続いて、意見をいただきたいと思います。これまでの事務局からの説明について、質問等があればお願いしたい。

【委員】

説明の中にもあったが、アンケート調査等における分母の問題が重要だと考える。分母を大きくするために、市としてどういった努力をしたかお聞きしたい。

【会長】

市民満足度調査に関しては、全数ではなく、抽出であったか。その点も含めてご回答いただきたい。

【事務局】

市民満足度調査については、市内4,000人の方を対象に、アンケート調査票を郵送している。回答は約1,500人の方から得られた。子育て世代のヒアリング・ワークショップ、市民ワークショップ、高校生ワークショップ等については、様々なご意見を深掘りしたいということを目的とし、実施した。ただし、分母を大きくする必要があるというご意見もあるため、引き続き検討したい。

【会長】

市民満足度調査については、悉皆調査ではなく抽出調査とのことである。選挙の投票率と同様に、10歳代から30歳代は投票率が落ち込み、年代が上がれば上がるほど投票率は上がる。ライフステージが上がれば上がるほど投票に行くということは、年齢を重ねるごとに、結婚・子育て・教育等、行政と政治のつながりが高くな

っていくため興味を持つことによるものだと考えられる。それと同様に、アンケート調査等においても、10歳代や20歳代は行政とそれほど積極的な関わりがない。そこで、アンケートでは拾いきれなかった年齢層等についてはヒアリングやワークショップで深掘りしたということだと思う。資料2の1ページ目にも開催概要として事務局からも説明があった。また、来年度以降に向けて基本構想・基本計画を設定していくため、引き続き市民の声収集を務めるとのことである。

続いて、資料3に関するご意見を伺いたい。これまでの調査結果、課題を踏まえ「基本理念」、「将来像」、「共通テーマ」が示されている。これらについて、委員それぞれの立場、専門から意見を頂きたいとともに、状況について詳しく知っている委員にお集まりいただいているため、議論をしていただきたい。不明点については、事務局に補足的にお伺いする。「基本理念」、「将来像」等でこういったキーワードを盛り込んでほしいという意見も含めて、お願いしたい。

【委員】

「共通テーマ」が4項目挙がっている。そのうちの「人口減少・少子高齢化・関係人口増加への対策」について、内容自体が悪いということではないが、現総合計画においても、人口減少についてはかなり踏み込んで進めるという旨が書いている。ところが、人口が計画よりも大きく減少するという残念な結果となっている。そういった失敗事例があることから、単純にテーマを掲げればよいというものではない。絵に描いた餅にならないよう、反省点を踏まえ、先を見込んだテーマとするべきである。

【会長】

よりシビアに、より現実的に捉えるべきではないかというご意見だった。委員のご心配の通り、日本全体が縮小しているため、さらにどうなるか、見出していく必要がある。今後10年間を考えたときに楽観視はできないというご意見だと思う。

【委員】

1点目、転出者調査について実施しているとのことだが、転入者調査については実施しないのか。というのも、建築・設計の現場において感じることは、昨年あたりから転入者が増えてきているということである。理由は多様だと思うが、テレワークの浸透により東京都まで通わなくてもよいという方がかなり増えてきている点、Iターンの方も増えていらっしゃる点などが考えられる。そのため、転入者向けのアンケートもあると良いと考える。

2点目、市民満足度調査に答えてくれる方は、それなりの生活をしている可能性が高い。自分は、社会福祉協議会とのつながりがある関係で、最近はフードバンクで支援を求める方が増えているという話を聞く。大人だけではなく、低所得世帯の子どもも困窮している状況である。基本構想を検討するにあたり、生活弱者の声を吸い上げるほか、施策の検討が必要ではないか。

3点目、職員アンケートの回答率が約60%とのことで、低い印象があることが気になった。

【会長】

転入者調査に関しては、石岡市の強みが如実に表れる可能性があるので、調査対象者としてぜひとも考慮していただきたい。

生活弱者に関しては、総合計画の議論に含まれる必要があることから、調査対象者に含めてほしいということであった。

職員アンケートについては、さらに回答率が増える努力をして欲しいというご意見であった。

他にご意見はあるか。今後の調査については引き続き進めていくが、委員から、こういったキーワードが欲しい、こういったことを強調したほうが良いということがあればお願いしたい。

【委員】

人間にとって「働くこと」が生きがいであるとする。「働くこと」による生きがいの創出は、年齢に関係ないものである。「基本理念」，「将来像」を見てもそういった内容が載っていないため、含めてほしい。

【会長】

「生きがい」を考える際に、社会の構成員である以上、「働くこと」が重要視されるべきであるというご意見であった。1980年代には「24時間働けますか」といった考え方もあったが、そういったことではなく、ワークライフバランスという言葉もあるように、「働く」と同時に「生活」とのバランスも踏まえ、10年後の石岡市は「働く」人と「生活」を含めて安全・安心なまちといったところにつながるかと思う。

今後は、未来をつくるのが「若者」ということを考えると、高校等からも意見をいただきたい。

【委員】

現総合計画の「基本理念」に「人が輝く」があるが、そこからは「教育」が結びつく。資料3の11ページまでの部分で、子育てが大人の目線というものも重要な点だと考える。各市町村において子育て支援が行われている中で、各市町村で内容等が異なってくるが、資料1の施策体系の他自治体事例を見ても分かる通り、「子育て」と「教育」は一緒のものとして捉えられている。「子育て」は親から見たものであるが、「教育」は両方である。資料3の10ページに「『創意ある学校教育の推進』は重点維持分野に区分」とあり、基本計画の中に入ってくる部分かもしれないが、「基本理念」，「将来像」など骨格の部分で「教育」という言葉が抜けている印象がある。「教育」は抜かしてはいけない言葉のように思える。

【会長】

「教育」に関連して、人口が流出している中で、高校までは市内に居住し、就職・進学を機に出ていき、そのままとなるというケースが少なくないと思われる。また、住んでいながら石岡市のことを知らないという人もいるため、産学官連携、地域間連携で教育したり、教育の現場を提供したりするなど、市民全体が共通軸として関わる・つながる必要がある。なお、参考までに、常陸大宮市では、「郷育立市宣言」を打ち出している。

【委員】

事務局からの説明で既述の部分かもしれないが、「医療」等の問題をどのように進めていくか、コロナ禍において、行政のスピード感や、対応方針が重要であると考えている。「基本理念」の「魅力」の中で「観光」はほかの産業においても大事だと思う。どのように観光をつくっていくかについては、歴史が重要な部分だと考えている。また、例えば道の駅に関しては、合併当時から問題になっているが、十何年間続いているもので具体化されないものが多い中で、具体的に進めるようなスピード感という考え方についてもぜひ検討して欲しい。

【会長】

より実行力がありスピード感を持って進めてほしいとのことだ。

【委員】

資料3の転出者調査で「子育て支援の充実」が最も多い回答であるほか、資料2の18ページに住み続けるための条件として、「子育て支援・保育が充実している」が100%と、ニーズが明確になっているところで、分母の部分もあるが、子育て世代に向けて意見をしっかり聴取することが必要だと考える。

【会長】

出生率の向上に向けて、今後を担う世代に対し、ユーザーの側に立った行政運営が重要だという意見かと思う。ただし、20歳代30歳代が転出者で多いことからそういった意見が多くなっているという部分も考慮しなければならない。

【委員】

転出者調査において、再び石岡市に住むための条件に関する設問を設けているが、転出先と石岡市が具体的にルールやシステムがこのように異なり、そのためにこういった動態となっているのだという、転出先の状況を調べた上での詳細意見であるか。それとも、アンケート調査で挙がった声を収集しただけなのか。

【会長】

この点については、可能であれば追跡調査が必要であるとする。石岡市のどの点が「弱み」・「脅威」であり、対し、何が「強み」・「機会」であるかを分析する必要がある。それでは、さらにご意見・コメント等があれば、事務局にお寄せいただきたい。議事は以上である。

(4) 閉会

【事務局】

以上で令和3年度第1回石岡市総合計画審議会を閉会する。お忙しい中ありがとうございました。